

チャレンジ項目記入数 13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・社内で経営目標を掲げると共に、各店舗で目標設定を行い、会社としてあるべき姿を社内で共有している。									8	9							17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の考え方や重要性を社員に発信しており、就業規則に明文化し法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・仕入にかかる請求書等の管理は担当者を選定している他、最終チェックは社長が行い、不正競争に関与しない体制を整備している。											10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者を選定し、バリューチェーン分析を通じて企業活動が社会・環境に及ぼす影響を把握する体制を整備している。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・スープ製造に係る配合等、独自のノウハウについては、担当者を選定し外部漏洩しないよう取り組んでいる。 ・【予定】令和8年5月までに就業規則に知的財産保護による規定を設定する。									8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・社員のマイナンバーは施錠ができる場所に保管し、その他個人情報はデータでパスワードを設定し厳重に管理し、情報漏洩防止に取り組んでいる。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・取引先や地域など、ステークホルダーと連携した地域の課題解決に取り組み、双方のコミュニケーションに取り組んでいる。 ・【予定】令和8年5月までに顧客アンケートを実施し、ステークホルダーとの対話を積極的に行う。																		16	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・食の安定供給の為、材料の価格高騰や天候不良による入手困難な状況についてサプライヤーと密に情報交換を行い、問題意識の共有に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●											9		11		13.1						16
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16		17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、登用、福利厚生など、雇用条件等、差別しない体制・運営を徹底している。 ・【予定】令和8年5月までに差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に明文化する。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務中の事故防止の為、店舗ごとに火元の確認等チェック管理表を作成し、担当者が定期的に確認する体制を整備している。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・社員の公正な待遇を行い、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・時間外労働の管理や、シフト制導入による労働管理を行い過重労働防止に努め、社員のワークライフバランスの実現に貢献している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・入社後の半年間は、現場で研修期間を設け教育、指導を実施している。 ・衛生管理等、資格取得による経費補助を行い、社員の能力開発に取り組んでいる。			4	5.5				8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員の健康診断受診補助を行い、健康経営に取り組んでいる。			3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・外国人や女性の雇用、定年制度廃止による高齢者の雇用を実現し、ダイバーシティ経営に取り組んでいる。			4.4	5.1 5.5				8.5 10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・感染症対策の一つとして積極的にWEB会議を導入する等、新しい生活様式への取り組みを行っている。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・全国に安心・安全な食を提供できるオンラインショップを構築し、DXの推進を強化している。 ・【予定】令和8年5月までに、iPad導入による各店舗での日計表管理を行い業務の効率化に取り組む。			3	4				8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4				8	9			12							

チャレンジ項目記入数 13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・各店舗で責任者を選定し廃棄物の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・店舗や事務所にLED照明設置を行っている。 ・二酸化炭素排出量算定システム等を活用し電力・燃料の使用量を把握している。							7.3							13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・電車やバスなどの公共交通機関での出勤を推奨し、温暖化対策に貢献している。 ・二酸化炭素排出量算定システム等を活用してCO2の排出量を把握している。		2.4					7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・店頭での割り箸の使用を廃止し、事業活動が環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。					6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・商品の発送時、過度な包装を避けることでリデュースに取り組む他、極力ロスが発生しない商品開発を行っている。 ・食品ロスの削減に貢献する商品開発に取り組んでいる。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・油脂や残飯、野菜くず等直接下水等へ流出することを防ぐ為グリストラップを設置する他、節水機能対応の製氷機や食洗機を導入し、水資源の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・オンラインショップでの冷凍ラーメンに同封する商品説明書は、再生紙を利用している。							9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・店頭での食品廃棄物削減のため、冷凍ラーメンの製造を行っている。 ・仕入、販売戦略において、極力ロスが発生しないビジネスモデル構築により、環境負荷低減に貢献している。 ・ラーメンと共に白米を提供し、スープも残さず飲めるようなメニュー構成とすることで、スープの廃棄を防止できるよう取り組んでいる。 ・食品ロスの削減に貢献する商品開発に取り組んでいる。	1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所の敷地を有効活用し、植栽など緑の保全に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・店頭で使用するスプーンやフォーク等、プラスチック使用削減を実施し、海洋汚染防止に貢献している。											12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・熊本市内の店舗については、社員の通勤手段を電車やバス等の公共交通機関利用に切替え、環境に配慮した交通手段の利用に貢献している。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

チャレンジ項目記入数 13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・冷凍ラーメンは出来立てを瞬時に急速冷凍・梱包することにより素材の鮮度や調理品の品質維持に努めている他、テイクアウトの際は温度管理を行い食の安全性に取り組んでいる。 ・店舗ごとに担当者を設け、味の均一化を図ると共に、料理長が最終チェックしている。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・店頭においてはスロープ、手すり等設置によるバリアフリー化を推進している。 ・HP及び店頭でのメニューについては、日本語以外に、英語、中国語、韓国語表記に対応している。								9.1	10	11.7						17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・煮干しや野菜については熊本県産を積極的に使用し、地産地消に貢献している。	2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		・店舗及び事務所については、木質化を推進している。					7						12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・仕入、販売戦略において、極力ロスが発生しないようビジネスモデルを構築する他、冷凍ラーメンの製造を行う等、環境負荷低減に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・災害の際は店頭で炊き出しや、避難所に食材等の寄附を行い地域の社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・各店舗に水や食材の備蓄をすると共に、社員の緊急連絡網を作成し防災対策に取り組んでいる。			4							11.5		13.1			16			
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・経営者を委員長とした「SDGs委員会」を設置し、事業活動において社会課題の解決に繋がる取り組みを推進するとともに、金融機関との定期的な開催により課題解決と進歩の共有に取り組んでいる。 ・商品の発送時にSDGsの取り組みを記載し、社外に発信をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・宇土中学校よりナイストライを受入れ、地域の生徒に職業の学びの場を提供している。			4					8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・SDGsへの貢献活動を広く発信し、地元の学生、生徒の採用を積極的に推進することで県内就職を促進する取り組みを行っている。			4.4					8.5 8.6								17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。